

逸見万寿丸生誕700年祭

拝観無料

道成寺 釣鐘お里がえり

釣鐘を失くした道成寺に、万寿丸が寄進した二代目釣鐘。
豊臣秀吉による紀州征伐の折に持ち去られ、
京都の妙満寺に奉納された鐘がお里がえりします。

10月24日(日) ▼ 11月18日(木) 10時 ▼ 15時

道成寺本堂にて展示

秘仏・千手観音像 中開帳

9月20日(月) ▼ 11月28日(日) 10時 ▼ 15時

道成寺本堂にて公開



11月3日(水)

入場無料

[奉納公演] 公益財団法人国立劇場おきなわによる沖縄伝統芸能

組踊「執心鐘入」 [第一部] 琉球舞踊 [第二部] 組踊「執心鐘入」

12:00開場 13:00開演(2時間程度) 道成寺念仏堂前特設舞台

※雨天時は川辺西小学校体育館にて公演。

事前申込 | 先着200席(自由席) 10月1日から

TEL | 0738-22-8816 FAX | 0738-24-0154(教育委員会まで)

メール | kyouiku@town.hidakagawa.lg.jp

※代表での申込は3名まで(コロナ対策のため全員の氏名・住所・連絡先が必要です。)

お問い合わせ先 | 紀の国わかやま文化祭2021日高川町実行委員会事務局 TEL 0738-22-8816

主催者 | 文化庁/厚生労働省/和歌山県/和歌山県教育委員会/日高川町/日高川町教育委員会/第36回国民文化祭、
第21回全国障害者芸術・文化祭和歌山県実行委員会/紀の国わかやま文化祭2021日高川町実行委員会



道成寺

和歌山県日高郡日高川町の道成寺は大正元年（701年）文武天皇勅願寺として、紀大臣道成卿が建立した寺で、和歌山県下に現存するものでは最古の寺です。62段の石段を上り、朱塗りの仁王門（重要文化財）をくぐると、正面に本堂（重要文化財）、右手に安珍清姫伝説の鐘楼跡があり。宝仏殿には平安前期作の木造千手観音立像（国宝）や脇侍の日光・月光菩薩像（国宝）をはじめ、数々の文化財が安置されています。また、道成寺芸術と総称される芸能には、安珍清姫の悲恋を主題にしたものと、再興した鐘の供養に現れた清姫の怨霊を取り扱うものと2通りあり、古くは能楽「鐘巻」「道成寺 歌舞伎では「京鹿子娘道成寺」がことのほか有名です。



妙満寺

京都市左京区岩倉幡枝町の妙満寺は、顕本法華宗総本山であり、日什大正師が康徳元年（1389年）に現在の鳥丸五条あたりに「妙塔山妙満寺」を建立。その後、幾度かの兵火に遭い、その都度、洛中に寺域を移してきましたが、昭和43年（1968年）に昭和の大遷堂を挙行し、寺町二条から現在の地に移り今日に至ります。境内には仏舍利大塔が建立されていて、本坊の「雪の庭」は雪月花三名園の一つです。

道成寺二代目釣鐘は天正年間、「秀吉根来攻め（1585年）」の大将・仙石権兵衛が京都に持ち帰り妙満寺へと納められました。例年の春には鐘供養を営み、安珍・清姫の霊を慰めており、道成寺を演じる芸能人はこの鐘に芸道精進を祈ります。

道成寺釣鐘のお里がえり

妙満寺に伝わる道成寺二代目釣鐘は、正平年間（1346-1369）逸見万寿丸源清重（へんみまんじゅまるみなもとのみよしげ）により道成寺に寄進されました。

万寿丸は、元亨元年（1321年）旧暦6月25日に生まれ、南朝方の後村上天皇に仕えて武勲をあげ、矢田庄を賜りました。現在の日高川町役場の近くに城を構え、30数年にわたり統治しました。天授四年（1378年）旧暦12月22日に天寿を全うするまで、万寿丸は私財を投じて道成寺本堂を建て替え、秘仏千手観世音菩薩、二代目釣鐘（京都妙満寺所蔵）と、土生八幡宮の釣鐘（光源寺所蔵）を寄進しました。

そして、この二代目の釣鐘が題材となって、道成寺ものと呼ばれる古典芸能の作品群が誕生しました。

令和3年（2021）は、逸見万寿丸の生誕700年にあたります。これを機として「逸見万寿丸生誕七百年を祝う会」（万寿会）が発足、生誕700年を記念して京都妙満寺にある道成寺二代目釣鐘が故郷道成寺にお里帰りします。

組踊（くみどり）

組踊とは、せりふ、音楽、所作、舞踊によって構成される歌舞劇であり、首里王府が中国皇帝の使者である冊封使を歓待するために、踊奉行であった玉城朝薫に創作させました。組踊は1972年に国の重要無形文化財に指定され、2010年にはユネスコの無形文化遺産となり、世界的にもその価値が高く評価されています。

「執心鐘入」は美少年・中城若松に恋をし、その執念から鬼女に変じてしまった女が法力によって鎮められるまでを描いた作品で、「道成寺もの」としてもあげられています。

琉球舞踊（りゅうきゅうぶよう）

琉球舞踊は概ね「古典舞踊」「雑踊」「創作舞踊」に分類しています。

「古典舞踊」は、組踊同様、踊奉行によって

基礎が固められ、その後の優れた芸術家たちによって肉付けされ、磨き上げられた舞踊です。「雑踊」は古典舞踊に加えて、民間に流布する民謡や風俗を取り入れた新しいスタイルの舞踊です。

戦後つくられた舞踊を「創作舞踊」と称しています。創作舞踊にも優れた作品が相次いで生まれています。



道成寺へのアクセス



※新型コロナウイルス感染拡大防止のため入場制限、内容の変更、公演等の中止を行う場合があります。
 ※公演等の様子について主催者の許可を受けた組織や事業者が撮影した写真やビデオ等が公開される場合があります。
 ※「奉納公演」の雨天時の変更等は日高川町実行委員会ホームページ上でお知らせします。

天音山 道成寺 〒649-1331 日高郡日高川町鐘巻1738
 TEL・0738-22-0543 ホームページ・http://www.dojoji.com
 駐車場・道成寺門前駐車場（乗用車1台 500円／11月3日は無料）

紀の国わかやま文化祭2021 日高川町実行委員会 事務局（日高川町教育委員会）
 〒649-1323 和歌山県日高郡日高川町小熊2416番地
 TEL・0738-22-8816 FAX・0738-24-0154
 E-mail・kyouiku@town.hidakagawa.lg.jp
 実行委員会ホームページ・http://hidakagawa-ed.jp/kokubun.indexkokubun.html

